

このまちで 子どもの頃の思い出、

子どもの頃の思い出

米持 典子

この原稿を書くにあたり子供の頃を思い出すと、地域の大人の方々と触れ合い、温かく見守られ、育てていただいたことに改めて感謝の気持ちになりました。こちらに書いた以外にも多くの懐かしい思い出があります。

〈書道教室〉

近所の多くの子どもが通っていた、つばき公園近くのK先生の教室に通っていました。ある時、仲良しの幼なじみHちゃんが入りたいというので連れて行き、同じ曜日にしたいと頼むと、「あなたたち、仲が良いのね。だったら別の曜日がいいわ。一緒だと遊んじゃって上達しないから」と言われ、仕方なく別々の曜日に。がっかりしたけれど、それぞれコツコツ練習を続けました。すると6年生の時、二人揃って入賞したのです。

先生スゴイ！！ おかげで仲良く表彰式に出席できました。

〈犬の赤ちゃん〉

近所のIさんのお宅で子犬が産まれると遊びに行っていました。「〇〇（犬の名前）の赤ちゃんさわらせてくださーい！」と外で叫ぶと、おばさんが出てきてくれて庭に入れて遊ばせてくれたり、ちょっとお借りして自分の家の庭で遊ばせてもくれました。勝手に名前をつけたりして。お気に入りには、靴下を履いているみたいに足の下の方だけ白い「くつしたちゃん」。

私たちの可愛いアイドルでした。

●こんなお店 ～アート電化～

芝生か中古車屋さんだった辺り（記憶が曖昧です・・・）に出来た「第一アート電化」（現在はサンドラッグ）。オープン記念で、お笑いトリオの「ヒップアップ」と女性アイドルグループ「ソフトクリーム」が来て大混雑。子どもにはガス入りの風船が配られて毎日もらいに行きました。

家（の天井）が風船でいっぱいになりました。

メモ（編集部）

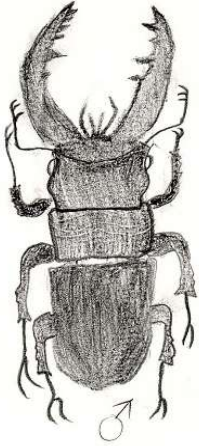
現在のサンドラッグの地の移り変わり

1970 年代初頭	芝の畑
1973、4 年頃～	中古車センター「セントラルオート」
1983、4 年頃～	第一アート電化
1997、8 年頃～	サトームセン
2007、8 年頃～	ヤマダ電機テックランド
2011 年頃～	サンドラッグ、ザ・ダイソー

虫とりの思い出

4年 若狭 悠人

2年 若狭 舞人



絵：W. MAITO

現役“前沢四丁目っ子”の僕たち兄弟。この夏一番の思い出『虫とり』の成果を発表します。

【夏休み1日の流れ】

早朝、虫カゴを持って2人で滝山グラウンドへ。樹液が出ているクヌギをいつもの順番で回ります。

“虫とり友だち”のおじちゃんに挨拶。「今日はどう？」「まあまあ。1匹だね」

家に帰って朝ご飯。

9時、児童館あおぞらへ。友達とドッジボールやサッカー。

12時、いったん帰ってお昼ごはん。

午後1時、友達と遊歩道の“カブトがいる木”をパトロール、汗だくで児童館あおぞらへ。牛乳パックで「めんこ」を作って、みんなでバトル。次は、つばき公園で水てっぽう。びしょびしょの服を着替えに帰って、またあおぞらへ。ヘトヘトです。

夕焼けチャイム。宿題をやって夜ご飯。

お父さんが「いいよ」と言った日は、ライトを持って一緒に夜の滝山グラウンドへ（やったー）。「早く来て！ここだよ！」暗闇の中、いつもの木のくぼみに光をあてると……。

【夏休みにゲットした昆虫の数】

採集場所：滝山グラウンド、前沢の遊歩道

採集期間：令和元年 7/20～8/27

★コクワガタ→約35匹

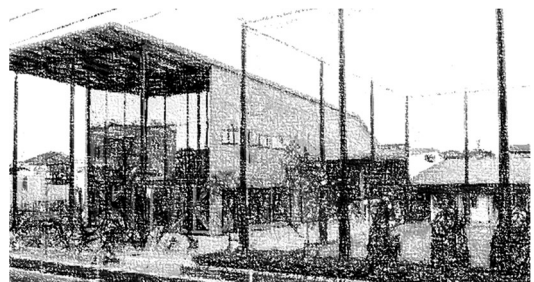
★ノコギリクワガタ→約20匹

★カブトムシ→約30匹

昆虫は、お気に入りを残して小さな子にあげたり、グラウンドに返しました。僕たちは、カブトムシやクワガタがたくさん住むこの町が大好きです。

最後に。僕たちを見守ってくれるご近所の方々、児童館あおぞらの先生たち、いつもありがとうございます。

(母、代筆)



前沢四丁目の思い出

江沢 勝己

私は前沢四丁目で生まれ、現在も居住しています。両親が商店を営み、その次男として育ちました。幼少のころはまだこの辺も雑木林が多く、また志久道マンションや榎本マンションには遊具やちょっとした広場もあり、子供が遊ぶには十分な環境でした。

つばき公園では、幼馴染みたちとブランコや滑り台で遊んだ記憶があります。公園内には水道が設置されており、水遊びもたくさんしていました。

幼少期、特に強く心に残っているのが、近所で飼われていた一記憶では雑種だったかと思いますが一犬の「ちゃこ」と遊んだことです。当時の「ちゃこ」はいわゆる放し飼いをされていて、私が自宅からある一定のリズムの口笛を吹くと尻尾を振って駆け寄って来てくれました。母は私の性格を熟知しており、犬を飼いたいと懇願しては強く反対されたものでした。飼えないからこそ、なついてくれた「ちゃこ」を思う愛情もひとしおでした。

末っ子だった私になついてくれる兄弟のような感情もあったと思います。

「ちゃこ」が車の事故に遭い、危ないからリードでつながねと飼い主さんから言われさみしさもあったけど、「ちゃこ」のことを考えたらその方がいいんだよなと幼心に思っていました。それでもそちらのお宅に顔を出すと、ちゃんと覚えていてくれて、いつも尻尾を振って喜んでいるようにみえました。

色々な場所にいろんな思い出があるこの「前沢四丁目」。今は結婚し2児の父となり、建物や景色は変わってきていますが、これからもこの前沢四丁目で暮らしていきたいと思います。

くぬぎ児童館の思い出

土屋 恵子

今から四十数年前、第九小学校に入学した私は、三年生になるまでの間学童保育に通っていました。わが家は学童保育のすぐ裏手の三地区です。学童保育の二階にはくぬぎ児童館がありました。



1 階が学童保育所、2 階が児童館（1972. 5）
東久留米市郷土資料室提供

学校が終わると毎日学童へ帰り、友達とかくれんぼや鬼ごっこ、ゴム段をしたり、やりあきてしまうと学童から抜け出して隣の消防署を見に行ったりふとんを直す作業所をこっそり覗いてみたり、そんな冒険ごっこをしていま

した。

児童館にもよく遊びに行きました。工作教室がある時には必ず参加していました。記憶にあるのは皮にとんかちで柄を型押しして作るしおり作りです。児童館には図書室もありました。本が好きだった私は遊びの合間によく一人で読書することもお気に入りでした。かこさとしシリーズや江戸川乱歩などこわいものも夢中で読みました。庭でキャンプお泊り会もしました。牛乳パックの中にホットドッグやお芋を入れて焚火で焼いて、とても楽しかったのを覚えています。

優しかった先生達、毎日遊んだ友達のこと、図書館のにおい、今でも私にとって懐かしく大切な思い出です。

メモ（編集部）

くぬぎ児童館

1972年5月 東久留米市で最初の児童館として開館。自治会は開館記念として時計を寄贈。

スイカ割り大会や餅つき大会にも毎年多くの住民が参加。自治会の映画会や役員会を開催したことも。前沢ときわ会は創立大会、創立5周年記念行事を同館で開催した。

2014年2月 休館（事実上の閉館）

2016年1月 建物解体

2018年4月 くぬぎ児童館と滝山児童館の「機能を移転する」ものとして子どもセンターあおぞら開館

ふとんの作業所

1980年頃～2002年 くぬぎ児童館の2軒西隣、今のレオパレスジョーヌの地にしばたふとん店の作業所があった。

滝山公園の戦没者慰霊碑

佐久間 裕一

滝山公園の目立たない所に『戦没者慰霊碑』があります。息子が小学生の時



に『街の中のモノを調べる』という課題を出されました。元・東久留米市長の吉田三郎さんが時々掃除をしていたモノを思い出しました。近寄って見たら名前が彫ってあり戦没者慰霊碑であることを知りました。

地元の人らしい姓もあり、この辺の人ではない姓もあります。農家の長老さん数人に聞きに行きました。「味の民

芸滝山店の南側にあった陸軍通信所の兵隊さんも含まれているよ！」。皆さん同じ回答でした。古紙回収の藤本チェーンの南側に通信所へ勤務する兵隊さんの住宅『通信住宅』がありました。

更に話を加えると、昔のメイン通りは所沢街道で、終戦直後は田無北原交差点から今では航空公園に変わった所沢の米軍基地に向かって戦車を乗せたトレーラーが通過、その先導役はジープでした。ジープからお菓子が投げられ、日本人の大人は「毒だから食べるな！」と叫び、甘いものに飢えていた子供たちは大人たちの言うことを聞き入れずに食べてしまいました。死んだ子供は・・・いません。

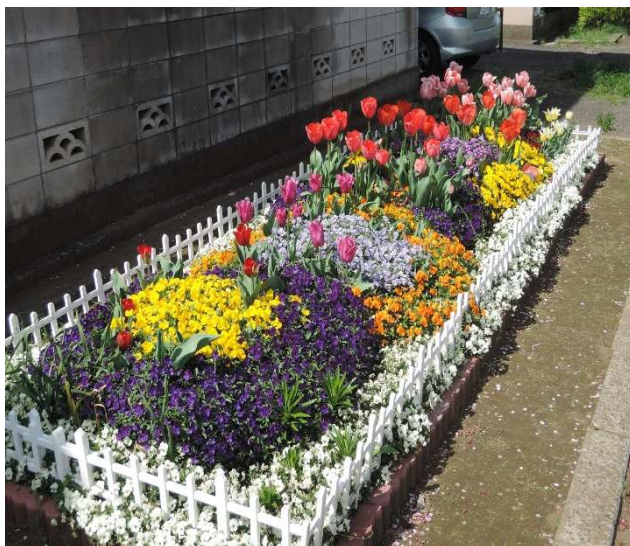
こねーなことも あるんじゃないあ！

西原 聖

80歳以上のご高齢の方が、昔使っていた田舎の方言です。こんなこともあるのですね！・・・という意味です。

私がこの前沢四丁目に移り住んだとき、すぐ近くに田舎が同じ町の方がいらっしやったのです。挨拶廻りでの会話中、イントネーションから分かり、お聞きするとまさに同じ田舎の同じ町の方だったのです。

その数年前にも、異動で同じ職場に田舎の中学校での後輩がいたことにも驚きましたが、この四丁目で未だ何も町の様子を掴めないでいるときに聞いた田舎の言葉。聞けば、同県人が何人かいらっしやる。安心して住める地と感じました。人生の先輩方も大勢お住まいです。



遊歩道の花壇 2016年4月

今の3地区から5地区に通じる道、その昔はシルバーストリートと呼ぶ方もありました。今では若い方も増え、幼児から90歳代のご高齢の方までが安住できる町に。

その四丁目を通る遊歩道、ここがフラワーストリートとなればとの思いから、花壇の整備や季節の花の植え付けなど、微力ながら協力できればと自身励んでいます。老若男女、更に住みやすい町の発展を祈ります。